



2026年8月期 第1四半期 決算説明資料

日創グループ株式会社（証券コード：3440）

2026年1月14日

会社情報

■社名 日創グループ株式会社
(英文表記 : NISSO GROUP Co., Ltd.)

■代表者 代表取締役社長 石田 徹

■本社 福岡県福岡市南区向野2-10-25

■設立 1983年9月

■資本金 1,190百万円

■セグメント 金属加工、化成品、建設、タイル、その他

グループ経営理念

日々創造

グループビジョン

**「創る」力で未来に挑む
企業グループ**


NISSO GROUP

日創プロニティ株式会社
吾嬬ゴム工業株式会社
日創エンジニアリング株式会社
綾目精機株式会社
株式会社ダイリツ
株式会社ワタナベテクノス

ニッタイ工業株式会社
株式会社天神製作所
カナエテ株式会社
株式会社マルトク
大鳳株式会社
フォームテックス株式会社

株式会社泉製作所
シキファニチア株式会社 (非連結子会社)
株式会社穴井工務店 (非連結子会社)
日創不動産株式会社 (非連結子会社)
一般社団法人Natural Capital (関連会社)
GXエナジーソリューション合同会社 (関連会社)

金属加工

建設、エネルギー、機械設備分野等における各種金属製品の企画・設計・加工・製造・販売



日創プロニティ



綾目精機



ダイリツ



ワタナベテクノス



天神製作所

化成品

住宅、機械、インフラ分野、輸送機械等における各種ゴム・ウレタン製品・樹脂成型製品の企画・設計・加工・製造・販売



吾嬬ゴム工業



大鳳・フォームテックス



泉製作所

建設

内外装パネル工事、太陽光発電設備工事等を中心とした建設工事



日創エンジニアリング

タイル

住宅・ビル外装タイル、内装タイル等の企画・設計・加工・製造・販売



ニッタイ工業

その他

木材加工・販売、住宅設備機器の企画・EC販売、ものづくりWEBサービス、システム受託開発

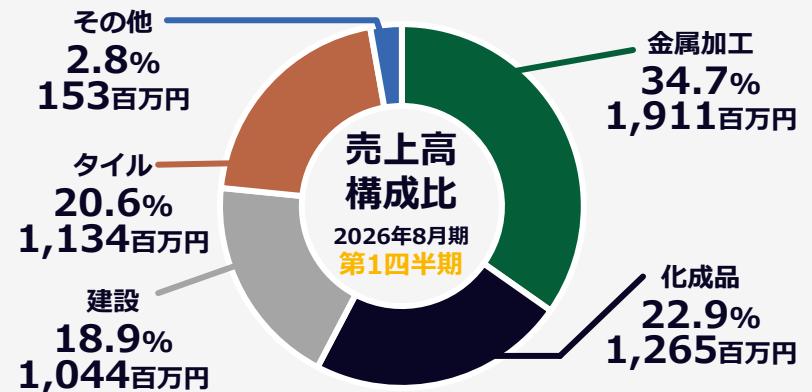


マルトク

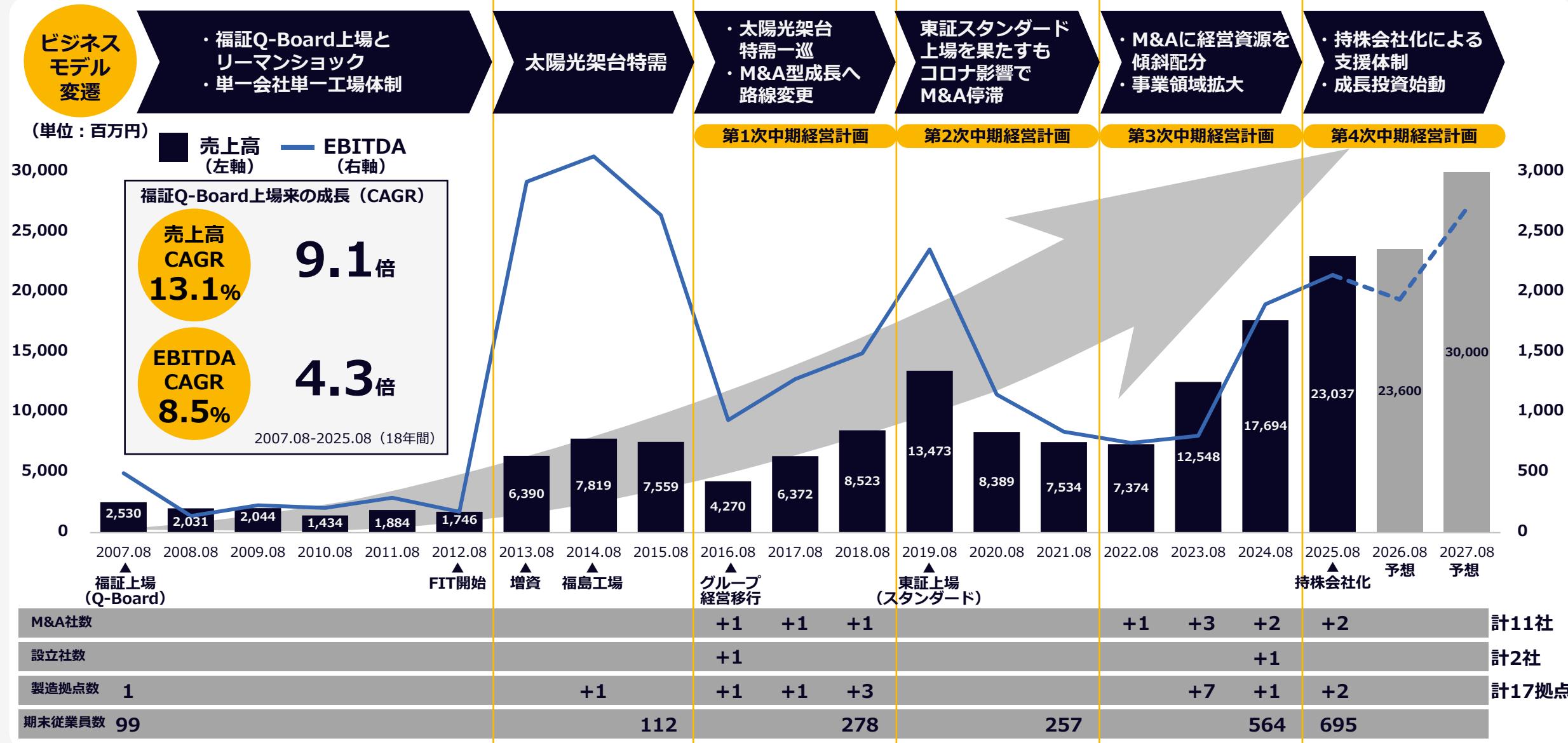


カナエテ

連結売上高
5,516百万円
2026年8月期
第1四半期

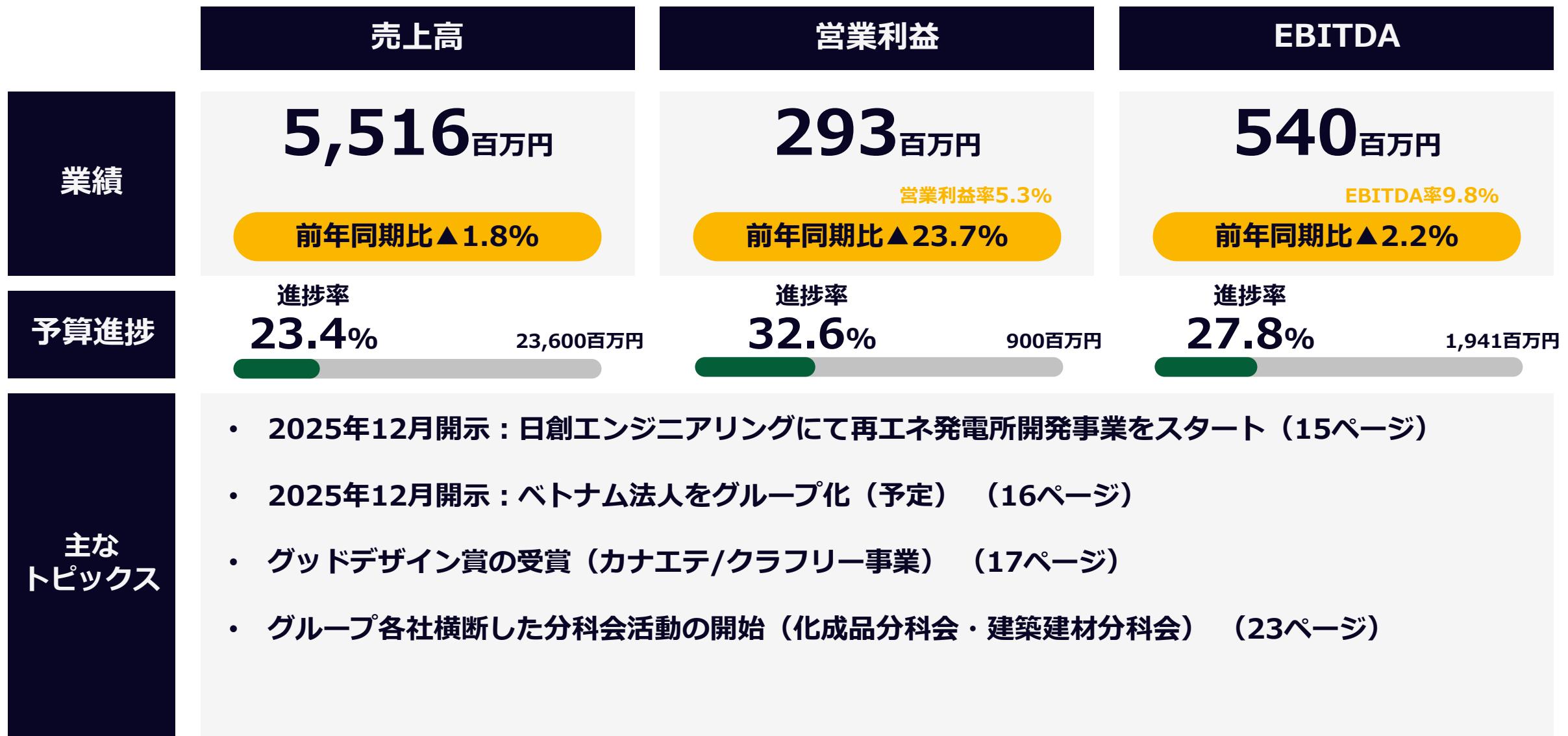


当社ビジネスモデルの変遷と売上高・EBITDAの推移



(注) M&Aや設立会社のうち連結子会社化している会社のみを記載しております。非連結子会社であるシキファニチア、日創不動産、穴井工務店は含まれておりません。

EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額



INDEX

目次

- 01 2026年8月期 第1四半期業績概要**
- 02 主なトピックス**
- 03 第4次中期経営計画の進捗**
- 04 株主還元の基本方針、配当予想**
- 05 Appendix**

2026年8月期 第1四半期業績概要

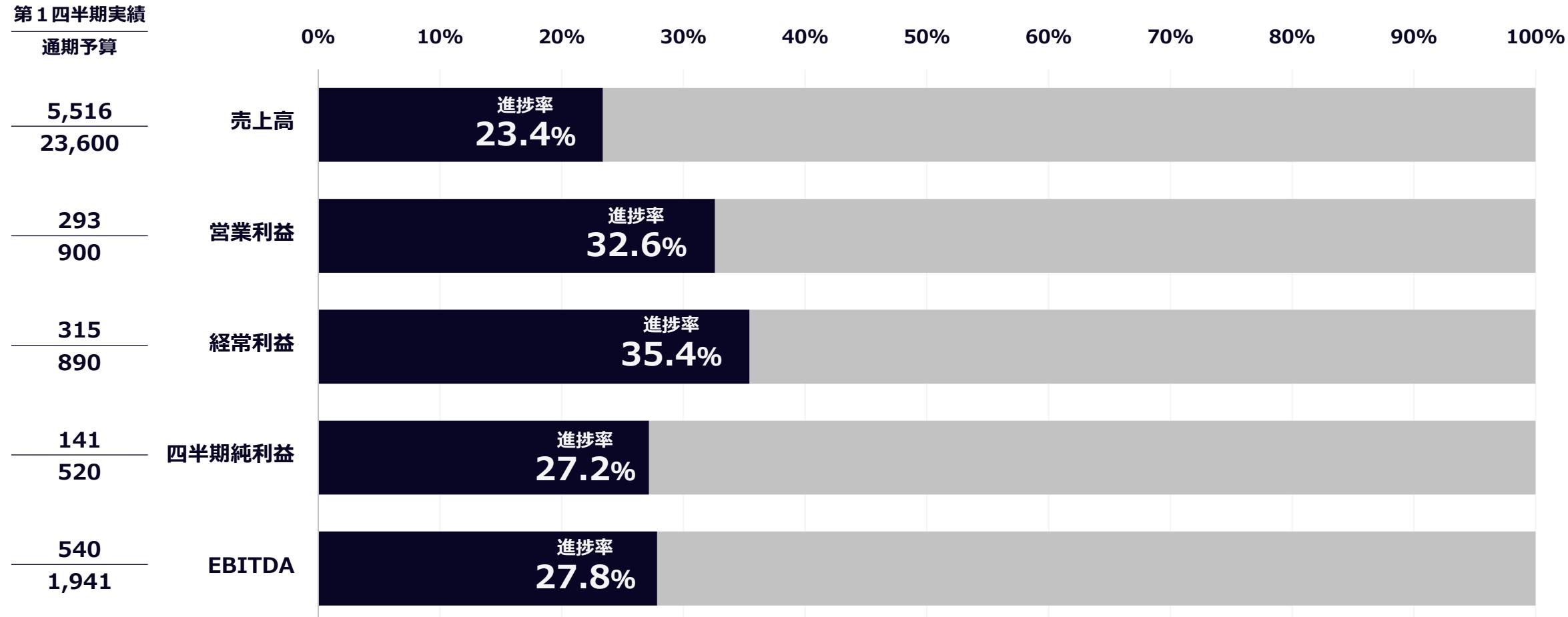
第1四半期は、金属加工事業においてデータセンター関連案件が好調に推移。化成品事業では、前年度M&Aした2社（大鳳・泉製作所）の業績が期首より加わったが、建設事業では、大型工事が集中した前期の反動減の影響を受けた。売上高は全体で若干の減収。EBITDAで見ると収益力は概ね堅調に推移。

(単位：百万円)

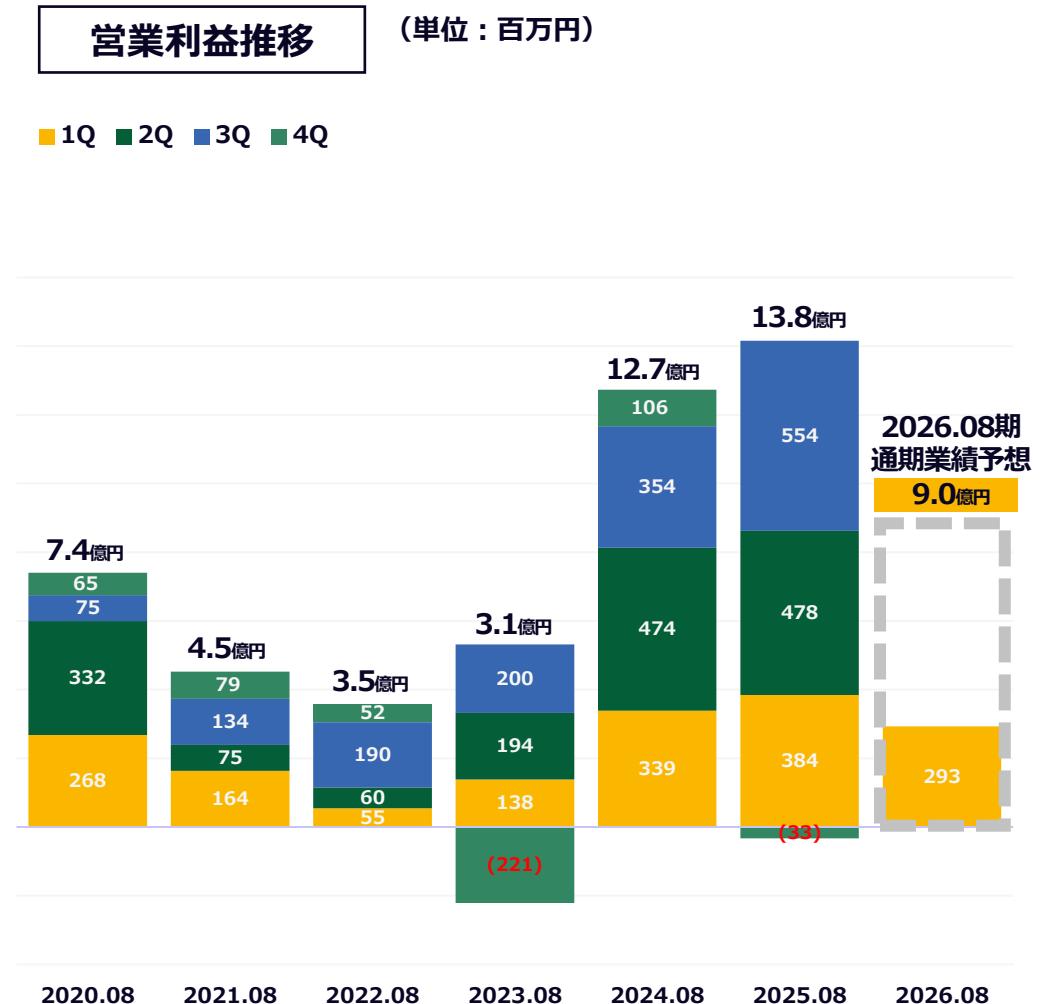
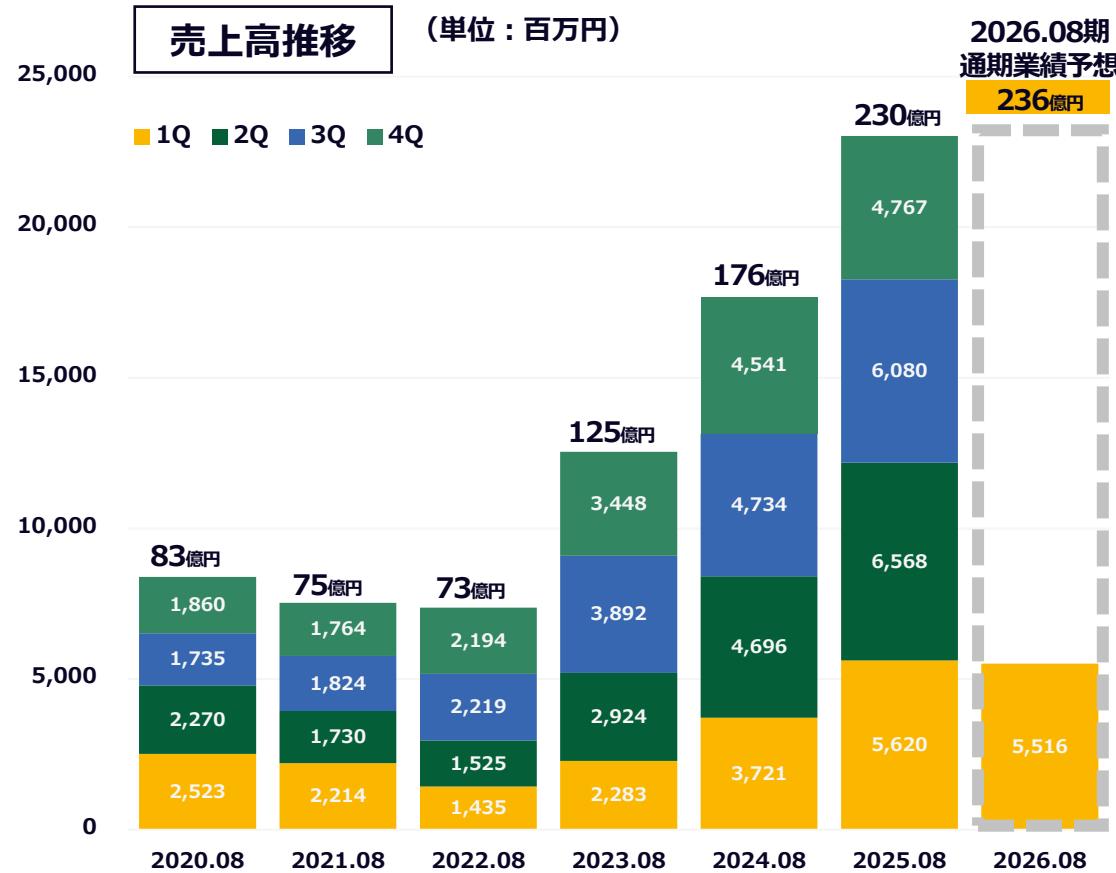
2025年8月期 通期（実績）		2026年8月期 通期（予想）	2025年8月期 第1四半期累計	2026年8月期 第1四半期累計	四半期業績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	23,037	23,600	5,620	5,516	▲103	▲1.8%	
営業利益	1,383	900	384	293	▲91	▲23.7%	
(営業利益率)	(6.0%)	(3.8%)	(6.8%)	(5.3%)	(▲1.5P)	–	
経常利益	1,401	890	395	315	▲80	▲20.3%	
四半期純利益	917	520	241	141	▲100	▲41.5%	
EBITDA <small>(営業利益+減価償却費+のれん償却額)</small>	2,144	1,941	552	540	▲12	▲2.2%	
(EBITDA率)	(9.3%)	(8.2%)	(9.8%)	(9.8%)	(0.0P)	–	
受注残	5,589	—	7,364	5,276	▲2,087	▲28.4%	

販売構成の変化による売上原価の低下により、各段階利益の予算進捗状況は良好。

(単位：百万円)

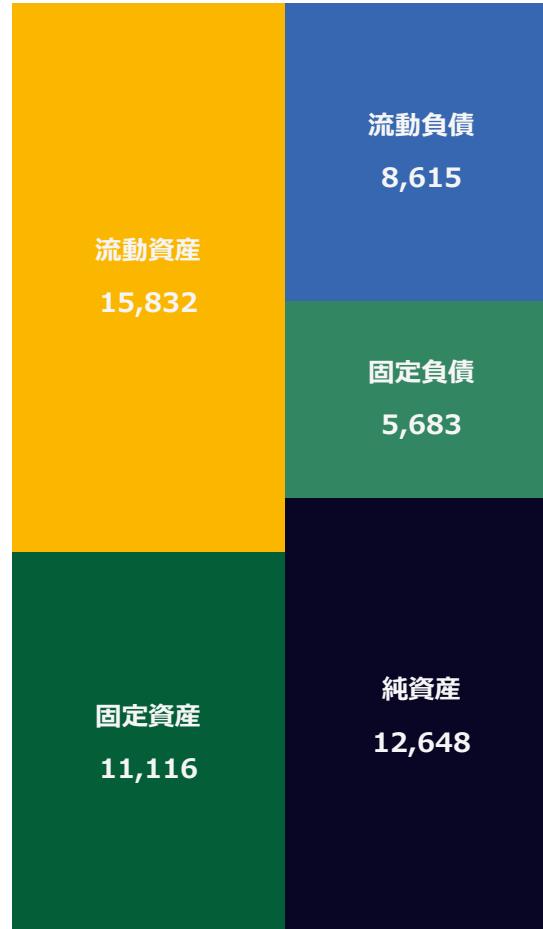


第1四半期時点での売上高推移は、概ね前年同期並の進捗。



(単位：百万円)

総資産26,948



2025年8月期末

総資産26,447



2026年8月期1Q末

流動資産

前期末比▲332

受取手形、売掛金及び契約資産+352
電子記録債権+225、現金及び預金▲754
商品及び製品▲186

固定資産

前期末比▲168

有形固定資産▲204

流動負債

前期末比▲218

支払手形及び買掛金+125、賞与引当金+101
短期借入金+100、未払法人税等▲406
1年以内返済予定の長期借入金▲144

固定負債

前期末比▲172

長期借入金▲204

純資産

前期末比▲109

親会社株主に帰属する当期純利益+141
剰余金の配当▲256

(単位：百万円)	2025年8月期 第1四半期累計		利益率	2026年8月期 第1四半期累計		利益率	前年同期比		主な変動要因
売上高	5,620	(構成比)	–	5,516	(構成比)	–	▲103	▲1.8%	
金属加工事業	2,013	35.8%	–	1,911	34.7%	–	▲101	▲5.1%	
化成品事業	239	4.3%	–	1,265	22.9%	–	+1,026	+428.6%	
建設事業	1,955	34.8%	–	1,044	18.9%	–	▲911	▲46.6%	
タイル事業	1,258	22.4%	–	1,134	20.6%	–	▲124	▲9.9%	
その他	152	2.7%	–	153	2.8%	–	+1	0.9%	
調整額	–	–	–	6	–	–	+6	–	
セグメント利益	509	(構成比)	–	225	(構成比)	–	–	–	
金属加工事業	282	55.4%	14.0%	129	57.3%	6.8%	▲152	▲54.2%	
化成品事業	15	3.1%	6.5%	90	40.3%	7.2%	+75	+485.0%	
建設事業	212	41.7%	10.8%	66	29.3%	6.3%	▲146	▲68.8%	
タイル事業	31	6.1%	2.5%	7	3.4%	0.7%	▲23	▲75.4%	
その他	▲31	▲6.2%	▲20.8%	▲68	▲30.2%	▲44.3%	▲36	–	
調整額（※）	▲124	–	–	67	–	–	+192	–	
営業利益	384	–	6.8%	293	–	5.3%	▲91	▲23.7%	

金属加工事業

ワタナベテクノスにおいて、データセンター向け防音筐体案件が好調に推移したが、日創プロニティにおいて、金属サンドイッチパネル・太陽電池アレイ支持架台が減収。

セグメント利益は、上記減収による減益の他、事業持株会社体制から純粋持株会社体制への移行に伴い、本期より経営管理料収入の計上をセグメント利益から調整額（※）に移行したため減益。

化成品事業

前年度M&Aした2社（大鳳・泉製作所）の業績寄与により大幅増収増益。

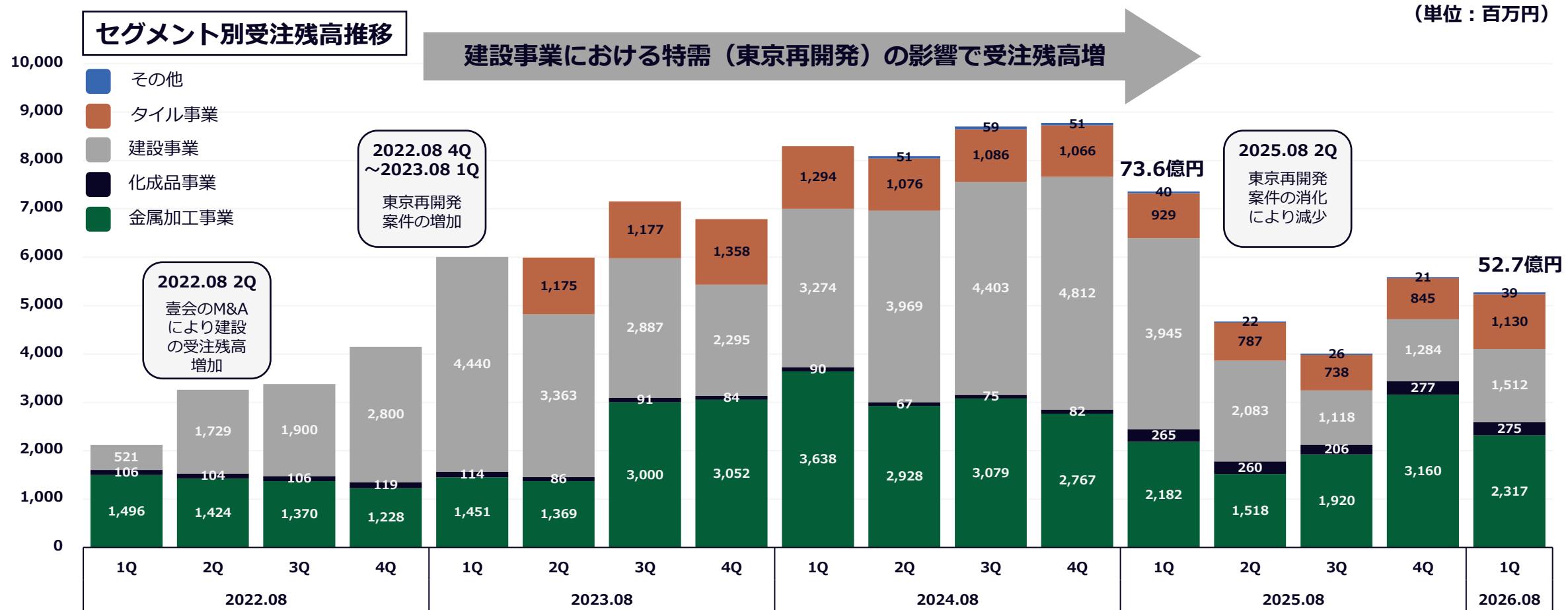
建設事業

大型工事の進捗が高い水準にあった前年同四半期の反動減により、大きく減収減益。

タイル事業

住宅需要が全国的に減少している影響を受け、若干の減収減益。

受注残高は、建設事業において特需の東京再開発案件消化が進み減少。平常時の受注残高水準に戻るも、全体としては前3Qに底打ちし反転。金属加工事業セグメントでは、前4Qにデータセンター向け大型物件受注により増えた受注残高が消化され当期1Qは減少したが、他セグメントでは受注残高増加基調で推移。

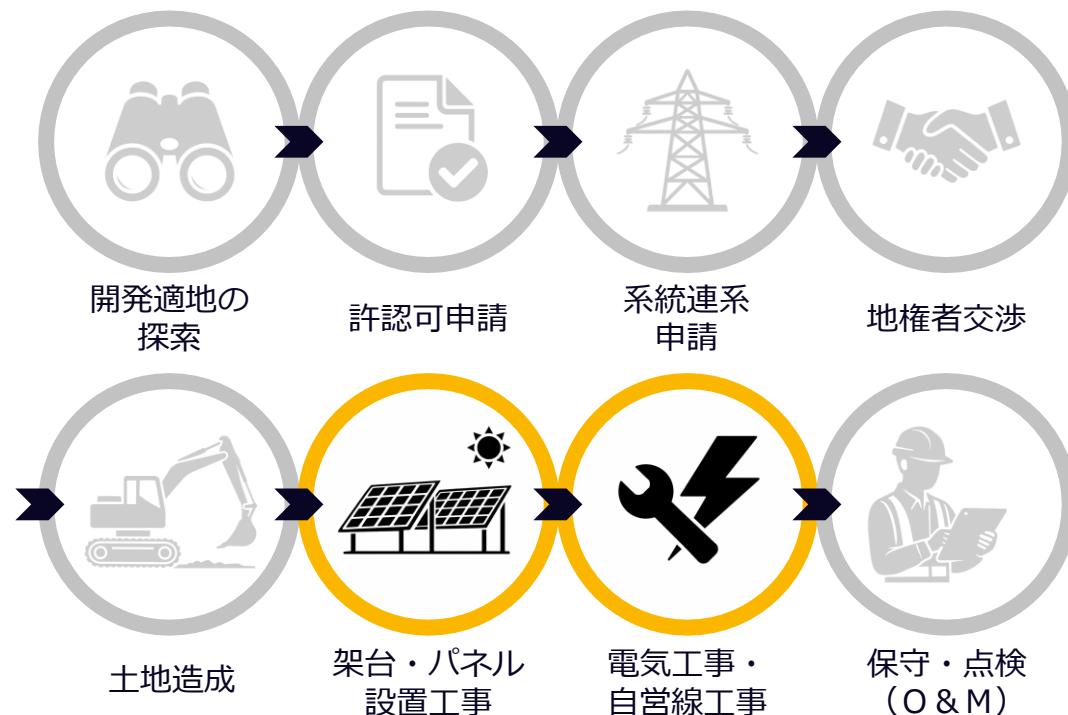




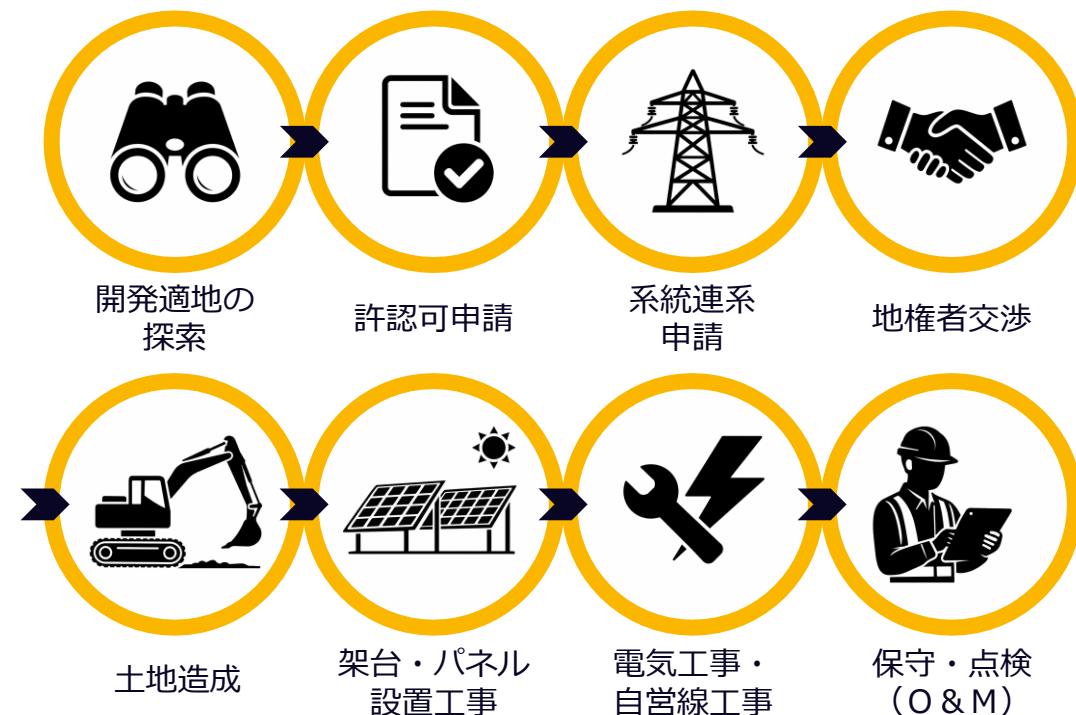
主なトピックス

工事請負にとどまらず、再エネを開発する事業へと転換を図ることで、太陽光発電所開発の上流工程を一貫して担い、「開発→建設→O&M」までの連続したバリューチェーン強化により付加価値を高める。

従来の提供サービス



新事業開始後の提供サービス



ベトナム設計会社をグループ化し、
初の海外拠点として活用。

■ 社名	HIMAWARI SEKKEI VIETNAM CO.,Ltd.
■ 本社	ベトナム社会主義共和国 ハノイ市
■ 事業内容	建築建材等の作図・設計
■ 設立	2022年11月2日



住宅設備ブランド「Crafree（クラフリー）」は、3商品（手洗器「ピクア」／洗面ボウル「リニエッタ」／ミニキッチン「レヴロック」）で、2025年度グッドデザイン賞を受賞。

Crafree



▲手洗器「ピクア/Piqua」



▲洗面ボウル「リニエッタ/Renetta」



▲ミニキッチン「レヴロック/Levloc」

03

第4次中期経営計画の進捗

①M&A投資（成長ドライバーとして重要視）

- ・当社グループのM&Aが持つ社会的価値と経済的価値の両立
- ・「日創M&Aセブンルール」の明文化
- ・蓄積されたノウハウによるPMIの実行

投資枠
50億円

②先行投資（中長期的な成長のため）

- ・人財・新規事業・新製品開発への先行投資
- ・設計工程や調達を一部海外へ移転する海外拠点化プロジェクト

投資枠
10億円

③持株会社化によるグループ支援体制の拡充

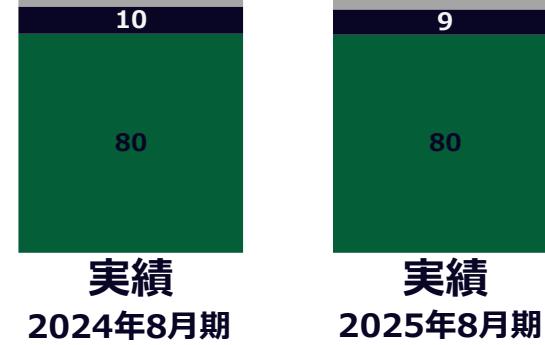
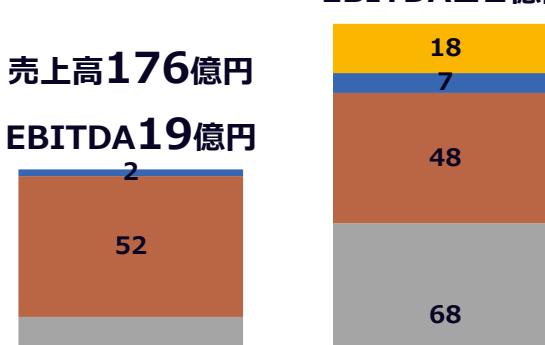
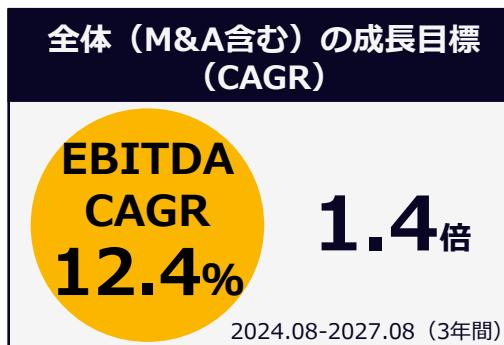
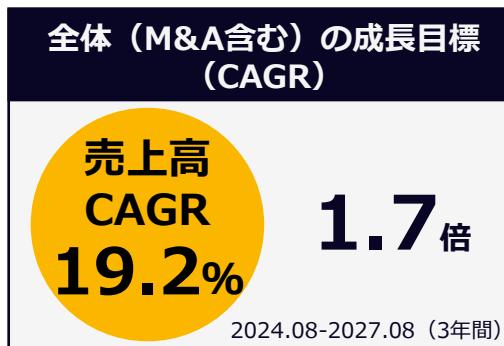
- ・プロフェッショナル人財「七人の侍」によるグループ支援体制の拡充
- ・グループ横断的な営業戦略・製造原価低減・新規事業・新製品開発などの推進
- ・さらなるグループシナジーを追求できる組織体制へ進化

七人の侍

④資本コストや株価を意識した経営

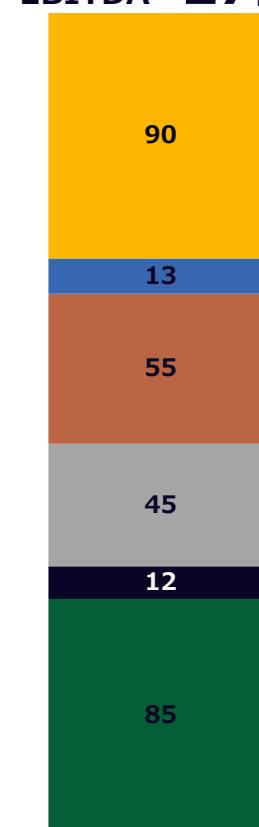
- ・当社グループのPBR、ROEといった現状を分析
- ・当社グループが考える目指すべきROE水準の設定
- ・達成するための具体的なアクションプランの実行

ROE
目標8%



第4次中計目標

売上高 300億円
EBITDA 27億円



2027年8月期
目標（連結）

売上高 300億円
EBITDA 27億円

3ヶ年のM&A
投資枠

50億円

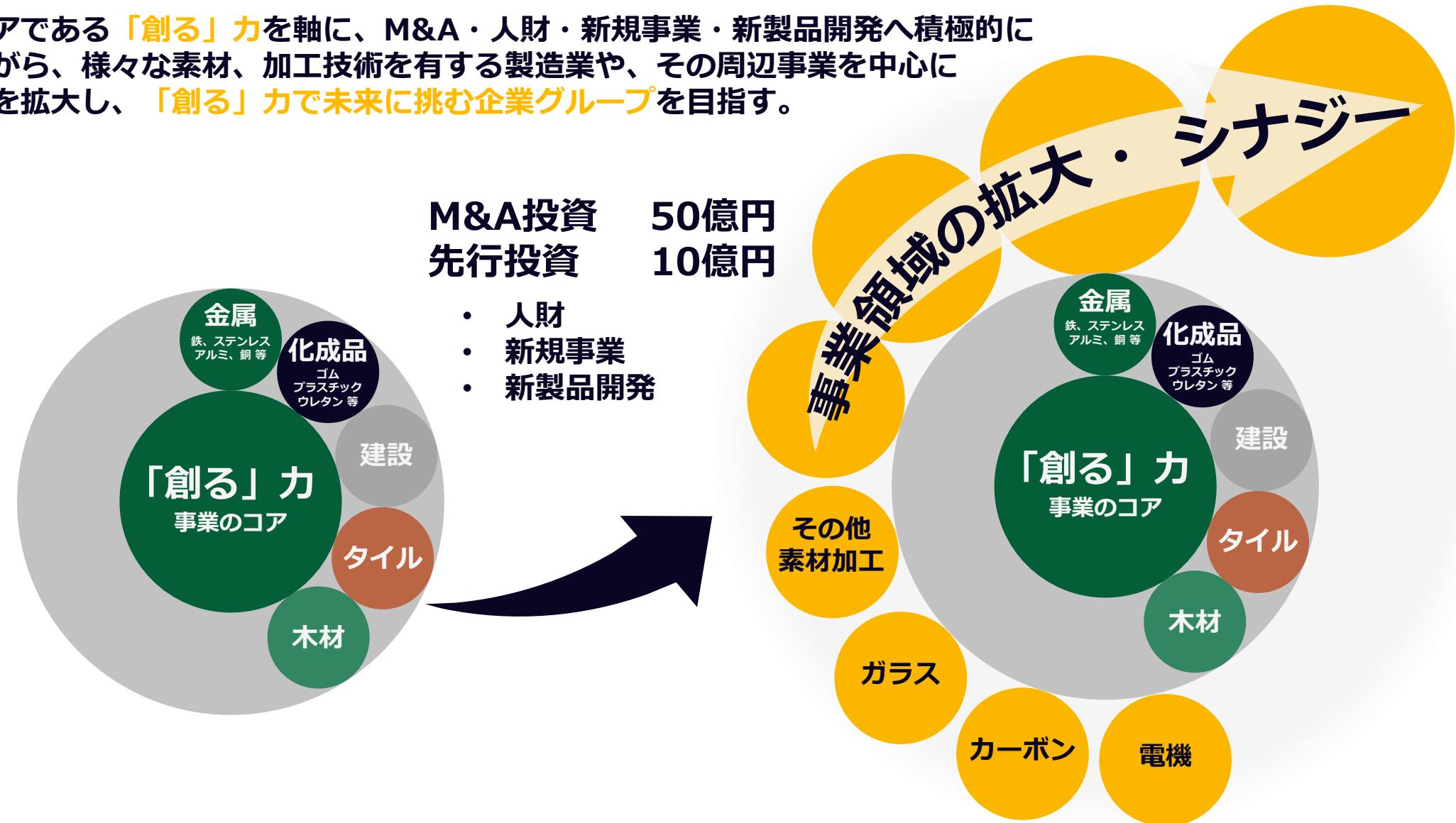
進捗 27.5億円 (2025年8月現在)

先行投資枠
(人財・新規事業・新製品開発)

10億円

進捗 7.2億円 (2025年8月現在)

事業のコアである「創る」力を軸に、M&A・人財・新規事業・新製品開発へ積極的に投資しながら、様々な素材、加工技術を有する製造業や、その周辺事業を中心に事業領域を拡大し、「創る」力で未来に挑む企業グループを目指す。



累計14社のトラックレコード（2025年8月末時点）



2016年8月期～2025年8月期（10年間）の純投資金額累計と回収の状況

純投資
金額累計

80.4億円
の
投資

回収
EBITDA累計

60.0億円
の
リターン

・純投資金額 = 株式譲渡対価 + M&A手数料等 - BS連結時のネットキャッシュ（ネットデット）

・回収EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 本社への経営管理料支払

※2024年6月 日創エンジニアリングと合併

これまで手薄であったグループ会社をまたぐシナジーの創出・加速に向けて、グループ会社を顧客・製品分野に基づき3グループに分け分科会活動を10月に開始。PMI・ポストPMIの一環としても今後推進強化予定。

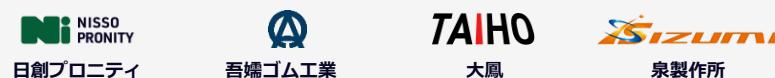
分科会活動の実践

金属加工分科会



2026年2月
開催予定

化成品分科会



2025年10月
開催ずみ

建材分科会



2025年11月
開催ずみ

分科会アンケートより参加メンバーの声抜粋

・各社の事業内容や強み・弱みを共有し、日創グループ全体で理解が深まった。

・シナジーの可能性として、人脈による連携と技術・ノウハウ共有の2点が示された。

・今後は各社の訪問や情報交換を通じ、より多様な組み合わせで、協業の展開が期待される。

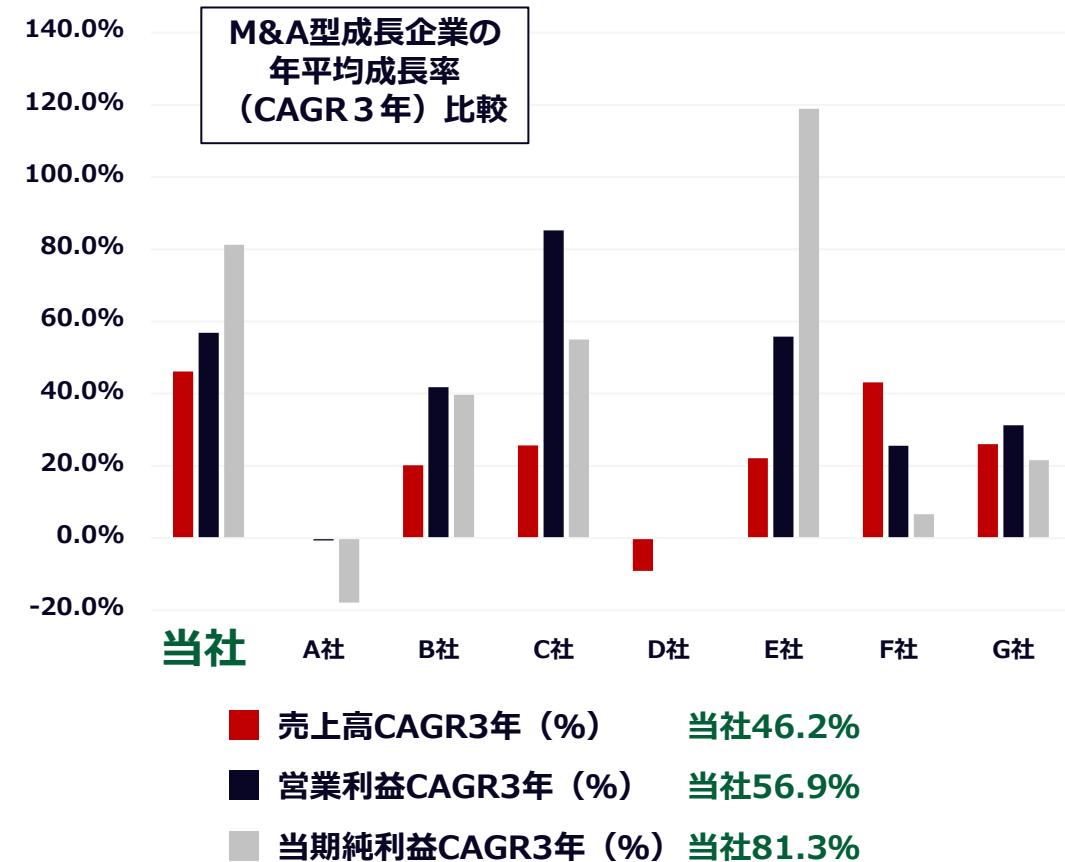
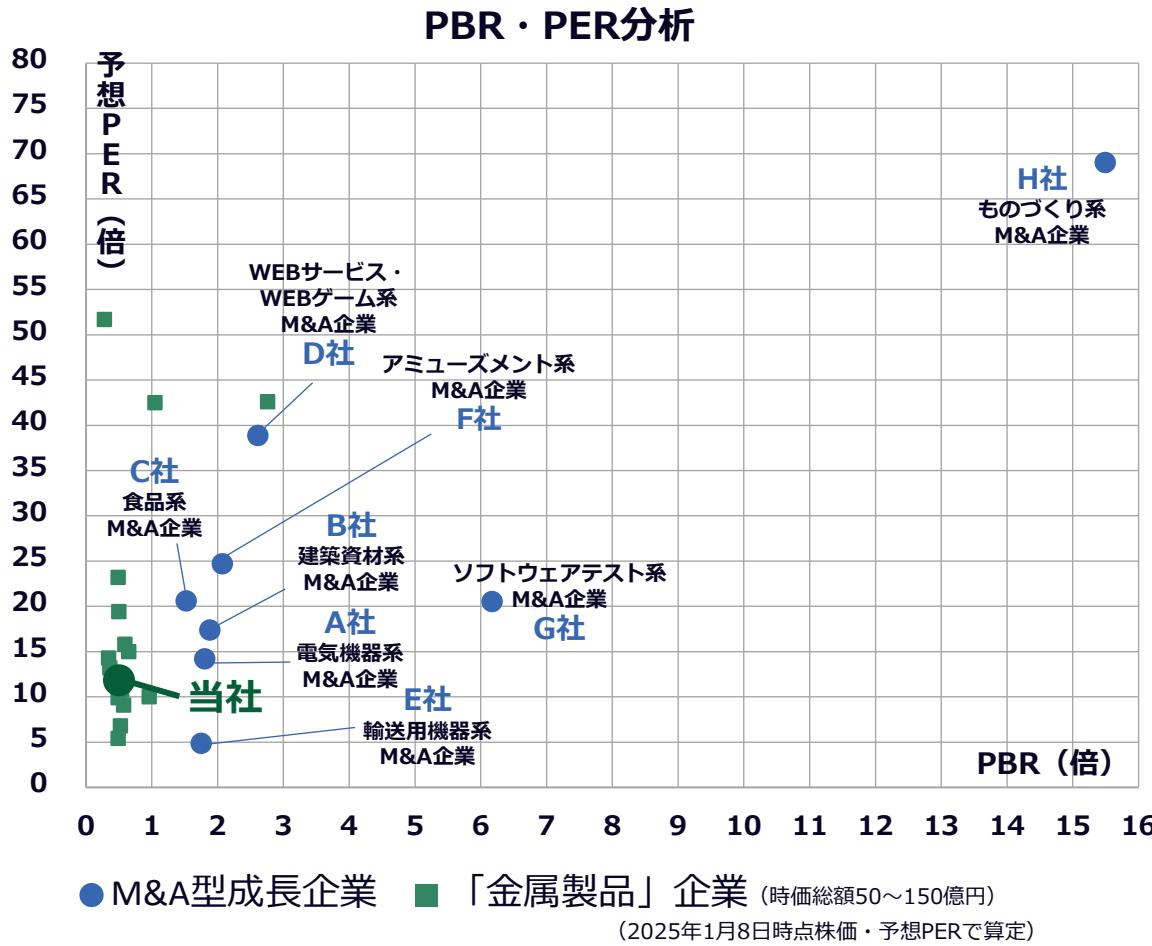
・各社キーパーソンが集まり、情報共有と意見交換を通じてグループとしての協力意識やシナジー創出の期待が高まった。

・顧客・名簿情報の共有や今後の方針が明確化し、具体的な連携へ一歩進んだ。

・課題共有や人的交流により、関係性の強化や今後のクロスセル推進に向けた土台づくりができた。

当社株式は、東証33業種分類上「金属製品」にカテゴライズされており、同業種分類（時価総額約50～150億円）企業と比較すると、PBR水準の近い企業が多い。

一方で、M&A型成長企業との比較では、当社も年平均成長率は相応に確保しているものの、当社株式のPBR・PERは低位にある。適切に評価されるべく、当社の強みや成長性を市場へ伝える努力をより一層意識し実践する。

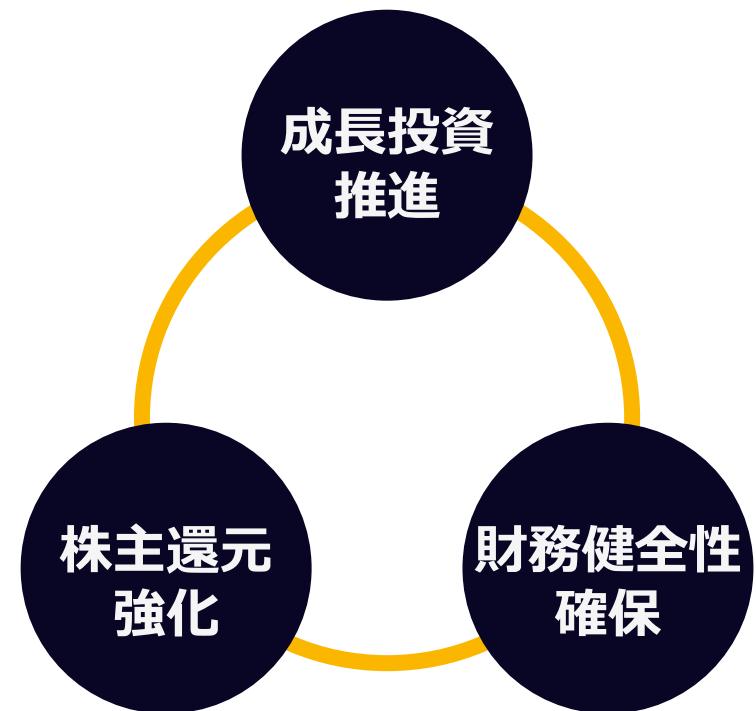


出典：各社開示資料、Yahooファイナンス、株探、マネックス証券銘柄スカウター、バフェットコード等を参考に当社作成（H社CAGR3年データなし、G社H社予想PERは各社開示資料より当社推計）



株主還元の基本方針、配当予想

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識すると共に、**持続的な成長と企業価値向上**を図るための資金を成長投資に振り向けていくことに力点を置きながら、各事業年度の経営成績を勘案して配当を行うことを基本方針としております。



成長投資推進

- ・人財投資
- ・M&A投資
- ・設備投資
- ・新規事業・新製品開発

財務健全性確保

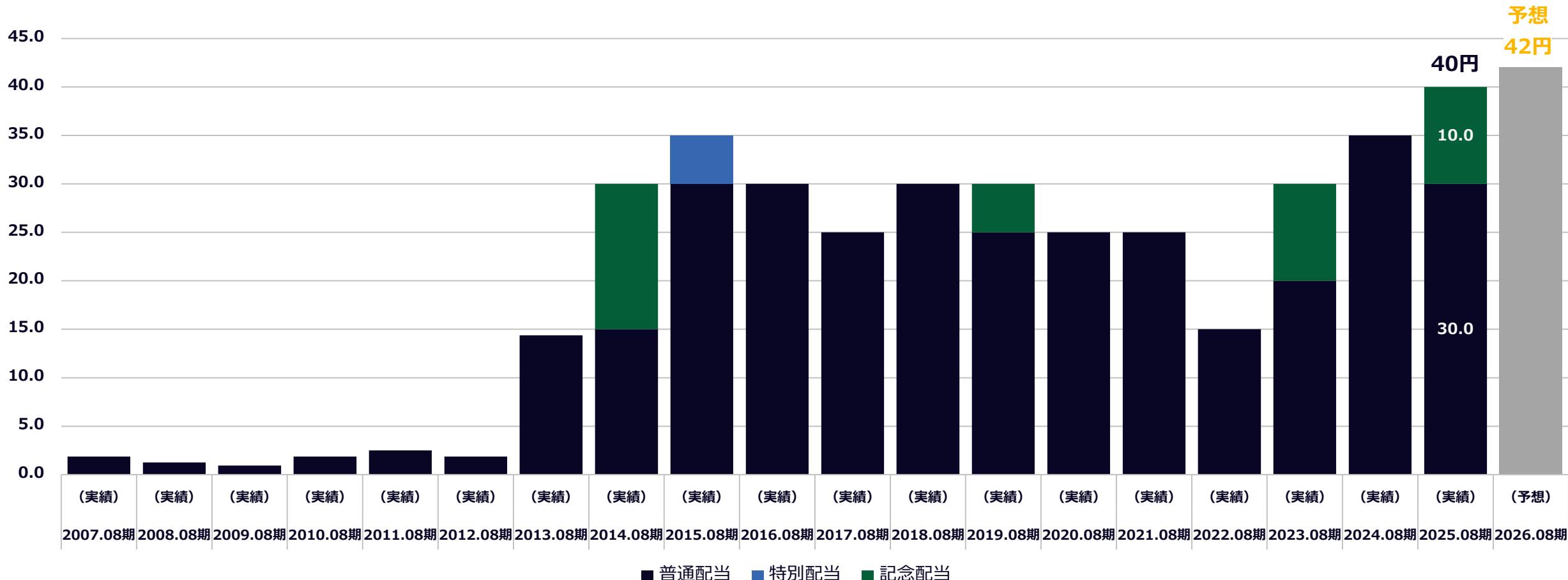
- ・借入金や自己資本のバランスを重視

株主還元強化

- ・業績を勘案しつつ配当金を継続的に充実
- ・時機を見ながら自己株式取得の実施

2025年8月期は、6月に持株会社体制に移行したこと記念し記念配当10円を加え1株当たり配当40円実績。
2026年8月期は、2円増配し1株当たり配当42円予想。

(単位：円。銭)



注:2007年8月期～2013年8月期は株式分割を反映後の修正後1株配当

■ 普通配当 ■ 特別配当 ■ 記念配当

Appendix

グループ経営理念

創造
創造

グループビジョン

「創る」力で未来に挑む企業グループ

現在の
ビジネス

ビジネスサイクル
「日創BOOOOOST!」

BOOOOOST!

目指す未来は
「創る」力で
未来に挑み
日本のものづくり
企業が輝く未来

第4次中計の対処すべき課題

1. M&A投資50億円
2. 先行投資10億円
3. 持株会社化によるグループ支援体制の拡充
4. 資本コストや株価を意識した経営

日創グループのビジネスサイクル「日創BOOOOST!」



「創る」力を還元する

- ・生み出した付加価値をステークホルダーへ還元する
- ・事業で獲得したFCF*1を再投資に振り向ける
- ・資本コストと株価を意識した経営の推進

*1 : フリーキャッシュフローのこと



「創る」力をつなぐ

- ・各社の力を連携し、無駄なく活かす
- ・顧客基盤の共有
- ・各社のリソースを結集し、新製品開発、新規事業を実現
- ・設計工程や調達を一部海外へ移転する海外拠点化プロジェクト



「創る」力を拡げる

- ・M&Aへの戦略的投資
- ・設備投資



「創る」力を鍛える

- ・人財への投資
- ・製造原価の削減
- ・PMI*2により事業基盤を鍛える
- ・ハード以外のソフト力を強化(品質、技術、デザイン、DX)
- ・成長が期待される既存事業強化(再エネ、パネル、DC*3向け)

*2 : M&A後の経営統合プロセスのこと

*3 : データセンターの略

金属加工事業セグメント

日創プロニティ



金属加工業

建築建材・機械装置・土木・環境エネルギー等、様々な業界に向けて、コイル鋼材から一気通貫で金属加工を行う会社。

綾目精機



金属精密切削加工業

印刷機、フィルム製造機、芝刈り機、ポンプ、エスカレーターなどに採用される精密部品を製造する会社。

ダイリツ



空調関連機器製造業

ダンパーと呼ばれる空調設備に取り付けられる機器を製造する会社。特殊品オーダーに強み。

ワタナベテクノス



防音・消音設備製造業

ビルやデータセンターなどに設置される非常用発電機を囲うための防音・消音筐体を製造する会社。技術力、大型筐体製作力に強み。

天神製作所



畜産排泄物処理設備製造業

大型畜産農場等で導入される畜産排泄物の堆肥化プラント製造を手掛ける会社。ニッチな市場で顧客から信頼厚い。

化成品事業セグメント

吾嬬ゴム工業



ゴム製品製造業

原料ゴムからの一貫生産を行うゴムメーカーとして、土木製品、一般工業製品、建築製品、車両用品、道路用品を加工・製造する会社。

大鳳・フォームテックス



化成品販売業

自動車、家電製品、住宅設備、土木などの各産業分野に向けてウレタン素材のパッキンやシール材を販売する会社。

泉製作所



工業用プラスチック製品製造業

自動車業界向けを中心としたプラスチック製品を射出成形する会社。徹底した品質管理体制により顧客からの信頼厚い。

タイル事業セグメント

ニッタイ工業



タイル製品製造業

内外装に用いるタイルを製造販売する会社。焼物として味わい深い湿式タイルの国内トップメーカーで、特殊品オーダーに強み。

その他

マルトク



木材加工業

内外装木材の加工や卸売のほか、ミリ単位で木製天板をオーダーカットできるECサイトマルトクショップを運営する会社。独自の販売力を有する。

カナエテ



ものづくりWEBサービス

良いプロダクトを有しているものづくり企業の製品を集め販売するECサイトKanaeteを運営する会社。住宅設備機器のEC販売、システム受託開発も行う。



CONTACT

お問い合わせ

日創グループ株式会社
グループ経営戦略本部 IR・SR部

📞 092-555-2825

🌐 <https://www.nissogroup.com>

✉️ ir@nissogroup.com

■ ディスクレーマー

本資料に記載されている計画、予測又は見通しなど、将来に関する事項等は、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、将来の業績等を約束するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。